



森高康行三通信

政務調査ニュース No.191

信 感 誇 頼 謝 り

四国中央市選出 (旧 土居町・新宮村・伊予三島市・川之江市)

後援会討議資料



もりたか 愛媛県議会議員 森高 やすゆき

議員歴37年の経験が
活かされる時

いまこそ! 康行

自由民主党所属

■森高康行プロフィール

生まれ:昭和32年(1957年)12月10日
経 歴:関川小、土居中、土居高、愛知学院大学法学部法律学科卒。上京し、青少年育成国民会議副会長故末次一郎先生の書生として学び、のちに衆議院議員故佐藤文生先生、参議院議員故村上正邦先生の下で国政を学ぶ。昭和61年2月、土居町議にトップ当選。昭和62年4月、県議に初当選。以来連続5回宇摩郡選挙区より無投票当選。行政合併による新選挙区にて連算9選。その間、平成17年1月第93代議長に就任、議連委員長、文教・農林・環境災害対策特別委員長を歴任。党では県連青年局長、政調会長、総務会長、政審会長など歴任。令和4年総務大臣感謝状授受。

■現職 (一部)

自民党県連総務会長
愛媛県立土居高校同窓会長
愛媛県相模連盟会長
愛媛県レスリング協会顧問
愛媛県青年海外協力隊を育てる会副会長
愛媛地球市民の会会長
NPO法人日印友好協会理事 他

森高康行後援会事務所

〒799-0721 愛媛県四国中央市土居町上野2280
TEL(0896)74-8788 FAX(0896)74-8989
E-mail:reimei@khaki.plala.or.jp
<https://www.moritaka-yasuyuki.jp>



フェイスブック



事務所HPアドレス

決意 連続当選十期を 目指して

昨年では私は満六十五歳、前期高齢者になりました。県議として連続当選九期ということでは総務大臣感謝状授与という栄に浴させていただきました。
更に全国都道府県議長会からも勤続三十五年表彰も受け、政治家としての人生の節目に当たって、令和四年十一月二十二日には支援者の方々による『感謝の集い』が、約二百名でコロナ禍に配慮して開催され、共に祝っていました。

そして、地元ゴルフ場で開催してきた黎明ゴルフコンペも昨年十一月で第三十回記念の大会を迎え、コロナ禍に配慮した、ハイコンペでミーティング無し、という残念な形ではありましたが、百四十名を超える盛大な開催を、お世話人の皆様方のご尽力により実現していただきました。
そこで、長く続くコロナ禍のため、対面にて話していない方も多く、年末年始には出来るだけ地元を巡り、色々な方から生の声を聞かせて頂きました。
四年目には及ぶ新型コロナウイルスとの闘いは、市民の生活に多くの課題を残すとともに、一年間にも及ぶウクライナ戦争も石油危機以上の物価高騰が暮らしを直撃しています。貧困やヤングケアラーなど将来への不安を語る声も

大きくなっており参りました。
また、先の世界大戦後に、戦争を再び行わない世界平和を築く為に、協調や理解を目指した友好交流が大切という事になりました。しかし、状況が一変して現在は強い者が弱い者を支配することにになり、国内でも、参議院選挙中の安倍元総理暗殺という世界史に印される事件を、民主主義の危機という声に対して、一部には殺人犯をヒーローのごとく称える声に驚くとともに、さらに家族間や男女間の安易としか思えない殺人事件も日常になりつつあります。

人が人としての在り方を見失つたり、民族が民族の誇りや歴史を語らなくなったり、子を授かり家庭を築くという当然のことが否定されたら、日本と世界は危機を迎えていると私は思います。
そこで、この危機には政治力を正しく使うことが必要であり、私のこれまでの経験をふるさとの為に活かさなければとの想いで、次の県議選に臨む決意を固めたところであります。
これまでに無い厳しい選挙選が予想されますが、雄々しく着実に歩んで参ります。皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。
令和五年二月二十九日
森 高 康 行

森高康行の 政策3本柱

- ◎防災・減災
- ◎子育て支援
- ◎ふるさと活性化

10の具体的
取り組み

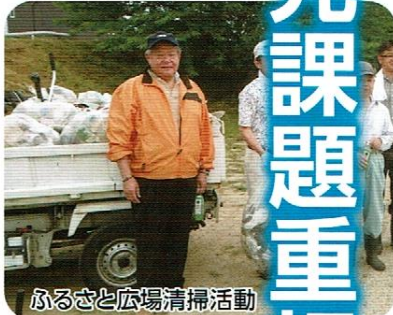
何よりも地元課題重視です。



防災セミナー



子育て支援



ふるさと広場清掃活動

ウクライナ相撲連盟ワールド強化合宿in愛媛実行委員会



スポーツ振興

創立120周年記念式



土居高等学校振興

防災…ライフワークとして過去11年、防災セミナーを開催

災害弱者についてや、ペット同伴の避難所のあり方についても提言してきました。備えこそ、最大の対策。災害対策工事の予算確保をして、生命を守る基盤整備に努めます。

少子化対策…人口減少社会は、静かな危機(2020年133万人→2060年78万人40%以上減少)

中村知事が創出した「えひめ人口減少対策総合交付金」を導入し、四国中央市と子育て環境の向上を目指す企業団体と共に、県の婚活プロジェクトや養子縁組の新たなルール化にも積極的に取り組みます。空き家対策と、移住促進の呼び込みにも努めます。

土居高等学校振興…県立で8番目に古い歴史を有する土居地域唯一の高等教育機関

母校でもあり、同窓会長を務める土居高等学校の創立100周年、120周年の記念事業に係ってきました。小・中学校も合わせて、学校の魅力づくりを目指し、スクールサポート・スタッフ等の活用や、部活指導員を拡大して教員の負担軽減を進め、より良い学校づくりに努めます。

スポーツ振興…「スポーツ立県愛媛」の実現を目指す

レスリング協会元会長、相撲連盟会長としての経験を活かし、県民がスポーツを「する」「みる」「応援する」「支援する」ことを目指して、生涯スポーツやパラスポーツ等の普及に努めます。四国のへその立地を活かしたスポーツ大会の誘致を目指します。

地場産業、地元企業の発展…地元企業に寄り添った経済振興等の取り組み

三島、川之江港へのガントリークレーンの設置実現に努力し、「媛いりこ」のブランド化にも協力しました。茶の生産と販売、水引等の振興策など地元経済振興等の取り組みを続けます。

豊かな長寿社会…高齢者の生きがい推進を目指す

令和5年度に愛媛県で開催される「ねんりんピック」を成功させます。地域福祉を支えるために、外国人も含めた介護・福祉人材確保への取り組みと、障がい者の生きがい推進を目指して「手話言語化」活動にも取り組みます。

芸術文化・伝統文化の推進…地元の資産を活かした四国音楽コンクールの開催を目指す

しこちゅ〜ホール、ユアホールのスタンウェイピアノ等を活用した地域住民参加型の様々な音楽イベント等の開催を目指します。ふるさとのためである一絃琴・二絃琴の振興、日本古来の茶道・華道などの発展等、伝統や歴史を生かした芸術・文化の振興に努めます。

行政改革推進…県行政のDXを一日も早く実現

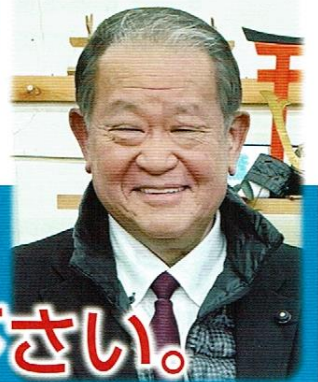
中村県政が強力に推進している県行政のDX(デジタルトランスフォーメーション)を、一日も早く実現し、いつでもどこでも県の行政手続きが行えるようにします。

世界との友好交流…定期航空路線の再開を目指す

韓国・中国・台湾の定期航空路線の再開を目指し、国際友好交流の実を上げていきます。中村知事が公約したインドとの交流の成功に向け、NPO法人日印友好協会理事の立場で役割を果たします。

保守政治家としての歩み…道徳・社会教育に励む

美しい日本を愛し誇れる子供たちの育成に努めて、「教育立県えひめ」の復活を目指して、教育の正常化を求めます。家庭や家族を持つという価値観を回復するため、道徳・社会教育に励みます。



地元議員37年の経験を
ふるさととの明日の為に使って下さい。